

三年組 番 名前 ( )

漢字を書きましよう。

① 六時に **起きる** おきる

⑧ けがの **様子** ようす

② ロケットの **速さ** はやさ

⑨ 長い **物語** ものがたり

③ **一面** いちめん の雪げしき。

⑩ アンデルセン **童話** どうわ

④ **息** いき をひそめる。

⑪ **発見** はっけん したかせき。

⑤ **向こう** むこう へわたる。

⑫ **表** おもて げんかんに行く。

⑥ **緑色** みどりいろ のぼうし。

⑬ **会場** かいじょう にあつまる。

⑦ **感心** かんしん するたいど。

⑭ ものさしを **使う** つかう

\*二つの文をつなぐことば(つなぎことば)を □ からえらんで ( ) の中に 書きましよう。

◎ 後の文のことが、前の文の反対・ぎゃくのこととなるもの

**二文** ぼくは、しっかりと勉強した。(しかし) 点数がわるかった。

**一文** ぼくは、しっかりと勉強した(のに) 点数がわるかった。

そして      しかし      だから      のに

三年組 番 名前 (

漢字を書きましよう。

まいにち

毎日

うんどう

運動

する。

⑧

うまに

乗る

のる

おちる

水が落ちる。

⑨

石油

が出る。

せきゆ

せいり

洋ふくを

整理

する。

⑩

ビルの

屋上

おくじよう

いみ

意味

をたずねる。

⑪

道路工事

どうろ

こうじ

つぎ

次

は、ぼくの番だ。

⑫

病院

へ行く。

びよういん

いしゃ

医者

になる。

⑬

鉄

ぼうであそぶ。

てつ

りゆう

理由

を話す

⑭

ゆうびん

局

へ行く。

きよく

\*二つの文をつなぐことば(つなぎことば)を □ からえらんで ( ) の中に 書きましよう。

◎前の文のことと、後の文が合う・よそう通りのもの

二文 わたしは、がんばって泳いだ。(だから) 五十メートル泳げた。

一文 わたしは、がんばって泳いだ(ので) 五十メートル泳げた。

ので しかし ところが だから のに

三年組 番 名前 ( )

漢字を書きましよう。

① 交通 安全  
こうつう あんぜん

② 昭和 五十七年  
しょうわ 五十七年

③ 旅館 にとまる。  
りよかん

④ お客 さんが 来る。  
きやく

⑤ かた手で 持つ。  
もつ

⑥ 階 だんを 上がる。  
かい

⑦ 重い にもつ。  
おもい

⑧ 去年 の 作品。  
きよねん さくひん

⑨ はたけ 仕事 をする。  
しごと

⑩ 両足 をそろえて立つ。  
りょうあし

⑪ 軽い 足どり。  
かるい あしどり

⑫ 九州 のしんせき。  
きゅうしゅう

⑬ しつ 問 に 答える。  
もん こたえる

⑭ きげんが 悪い。  
わるい

\*二つの文をつなぐことば(つなぎことば)を □ からえらんで ( ) の中に 書きましよう。

◎後の文が、前の文を説明しているもの

二文 ぼくは、 工作をした。(なぜなら) 夏休みの宿題だったからだ。

一文 ぼくが 工作をした(のは)、 夏休みの宿題だったから。

そして しかし なぜなら でも のは